

CCD & Laser 共通

プログラミングマニュアル

セットアップ手順



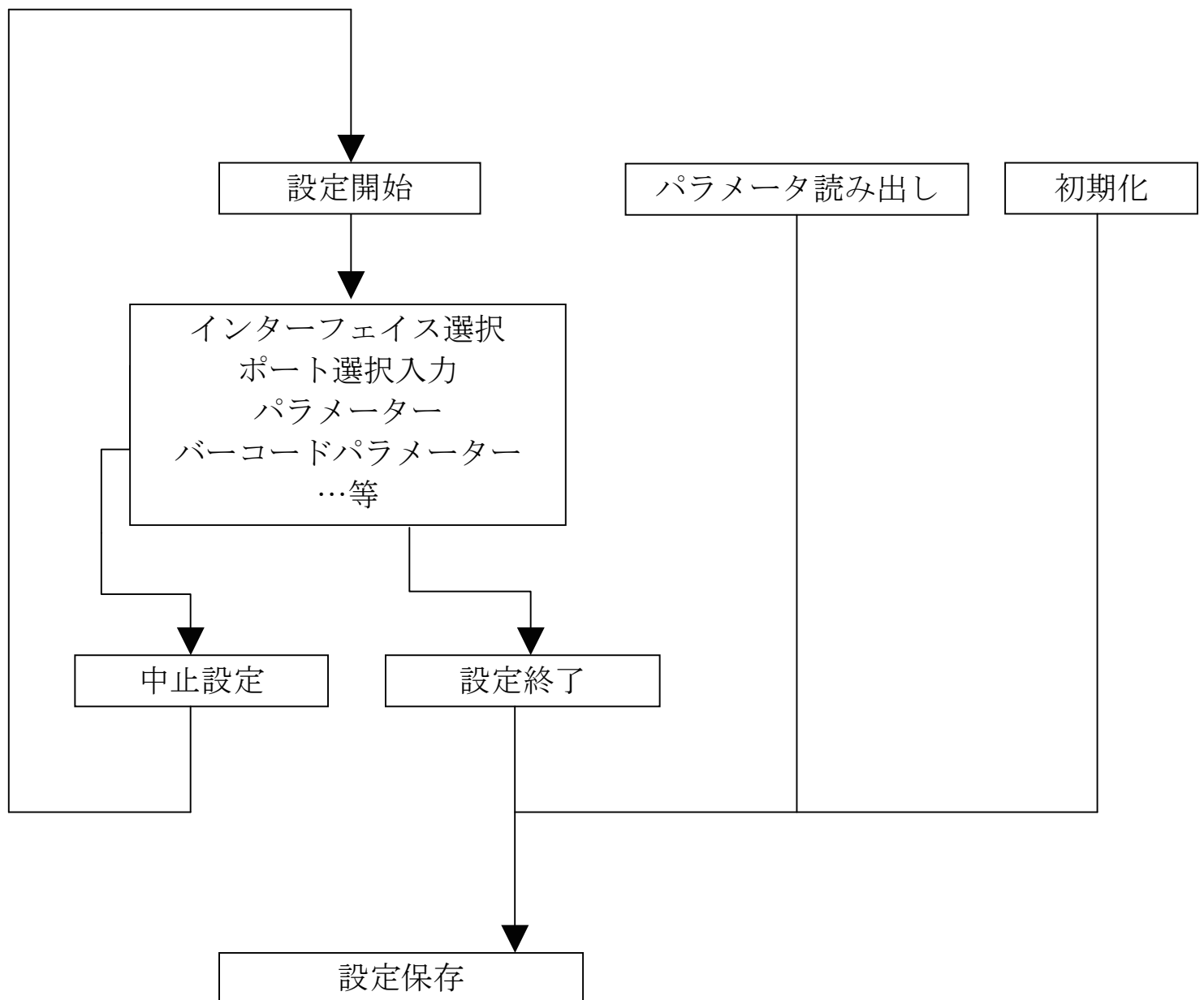
目次

1.	プログラムフローチャート.....	4
2.	プログラムの設定手順.....	5
3.	設定用コード.....	6
4.	インターフェイスの選択.....	7
5.	読み取りモードの選択.....	8
6-1.	RS232 通信パラメータ～ボーレートの設定.....	9
6-2.	RS232 通信パラメータ～データビットの設定.....	10
6-3	RS232 通信パラメータ～ストップビットの設定.....	11
6.4	RS232 通信パラメータ～パリティの設定	12
6.5	RS232 通信パラメータ～ハンドシェイクの設定	13
7.0	キーボードエミュレーション 大文字・小文字変換.....	14
7.1	キーボードエミュレーション 様々な変更.....	15
8.0	ヘッダ付加コード設定	16
9.0	文字間遅延設定	17
10.0	読み取りコードの選択	18
10.1	読み取りコードの選択 2	19
11.0	GS1 設定	20
12.0	バーコードパラメーター設定	21
13.0	補足セットアップ.....	22
14.0	チェックディジットの送信	23
15.0	code39 セットアップパラメータ	24
15.1	code39 チェックディジット伝送	25
15.2	スタートストップキャラクタ	26
15.3	code39 の読み取りコード長さ指定	27
16.0	code128 セットアップ 1	28
16.2	code128 セットアップ 2	29
17.0	インターリブト 25 パラメータ 1	30
17.1	インターリブト 25 パラメータ 2	31
18.0	インダストリアル 25 パラメータ 1	32
18.1	インダストリアル 25 パラメータ 2	33
19.0	マトリクス 25 パラメータ 1	34
19.1	マトリクス 25 パラメータ 2	35
20.0	Codebar パラメータ 1	36
20.1	Codebar パラメータ 2	37

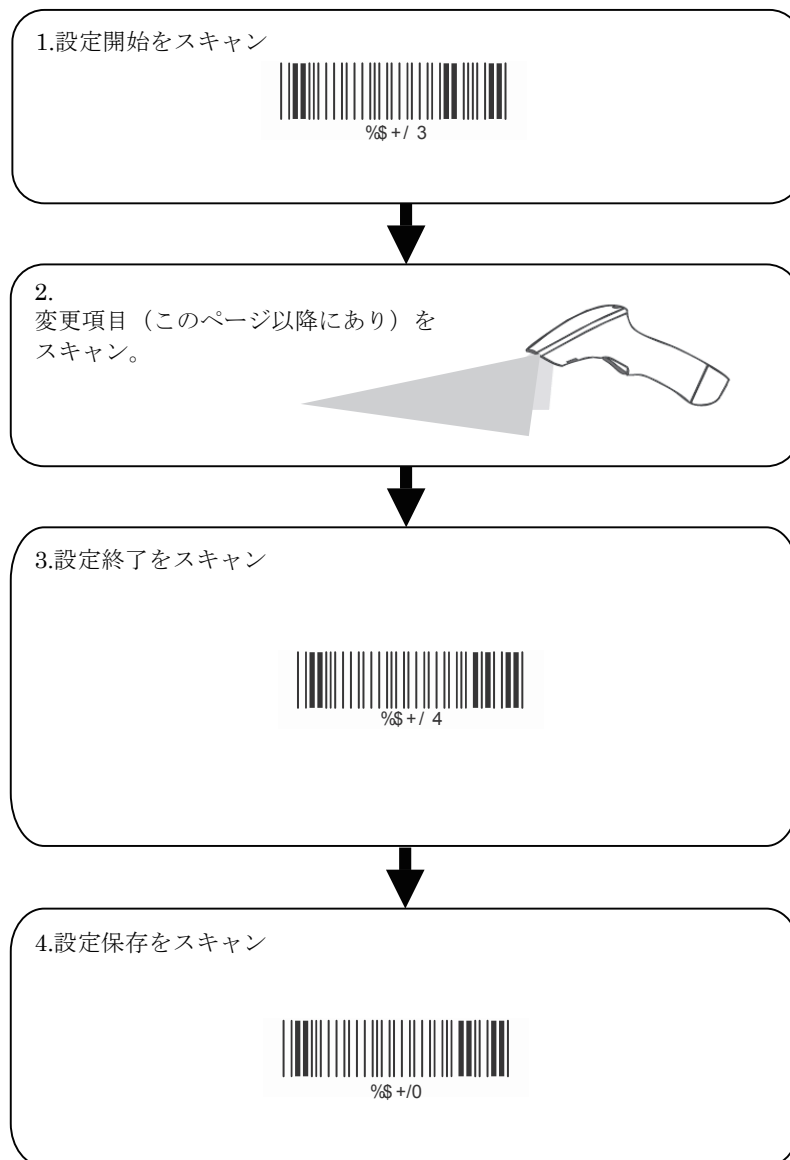
目次 2

21.0	code93 パラメータ	38
21.1	Code93 パラメータ 2	39
22.0	code11 パラメータ	40
22.1	Code11 パラメータ 2	41
23.0	MSI PLESSEY Code パラメータ	42
23.1	MSI PLESSEY Code パラメータ 2	43
24.0	Code2or6 パラメータ	44
24.1	Code2or6 パラメータ 2	45
25.0	LCD25 パラメータ	46
25.1	LCD25 パラメータ 2	47
26.0	GS1データバー設定	48
27.0	言語選択	49
28.0	codeID	50
29.0	ユーザーコード ID	51
30.0	ネガコード(反転コード)	52
31.0	コード間遅延設定 (オートスキャンやフラッシュモード時)	53
32.0	出力文字の削除	54
32.1	出力文字の削除 2	55
33.0	コードの挿入	56
33.1	コードの挿入 2	57
34.0	設定用コード	58
34.1	設定用コード 2	59
34.2	設定用コード 3	60
34.3	設定用コード	61
35.0	デフォルト設定 1	62
35.1	デフォルト設定 2	63
◆追記項目		
	GS1 DataBar Expanded	64
	GS1 DataBar Limited	65
	読み取りチェック (誤読防止)	66

プログラムフローチャート



プログラムの設定手順



設定はこれらの手順通りです。
設定開始をスキャンして始めないと設定用コードを読み取ってもそのコードをそのまま出力してしまいます。

同じく設定終了→設定保存をスキャンしないと設定は有効化されません。

設定用バーコード

パラメータの保存	 %\$+/0
設定パラメーターの呼び出し	 %\$+/1
初期化	 %\$+/2
設定開始	 %\$+/3
設定終了	 %\$+/4
設定の中止	 %\$+/6
バージョン情報	 %\$+/5

設定の保存 -

バーコードリーダー本体に変更した設定を保存します。

設定パラメーターの呼び出し

バーコードリーダー本体に保存されている設定を呼び出します。

初期化 -

バーコードリーダーの内部データを工場出荷時の状態に戻します。

設定の中止 -

バーコードリーダーの設定を変更せず設定を終了します。

バージョン情報 -

バーコードをリーダーのファームウェアバージョンを出力します。

インターフェイスの選択

※モードを切り替える場合、モードに合ったケーブルを利用する必要があります。

1. 設定の開始

設定開始



2. 使用するモードを選択

<USBモード> (デフォルト)



RS232モード



WANDエミュレーション



キーボードモード



3. 設定の終了

設定終了



4. 設定を保存

パラメータの保存



読み取りモードの選択

1. 設定の開始



2. モードの設定

設定コード	説明
〈通常モード〉(デフォルト) %0271	トリガーを押すと、 読取LED を点灯します。 バーコードを読み取るか、 2秒程度、経過すると消灯します
〈連続読み取り ON/OFF〉 %0272	トリガーを押すと、 読取LED を点灯し続け、 再度トリガーを押すと消灯をしま す。
〈トリガー ON/OFF〉 %0270	トリガーを押し続けている間、 常時読み取りLEDが点灯し続けま す。
〈検査モード〉 %0275	テストモードです。
〈常時電源 ON〉 %0273	電源供給をされている間、 常時読み取りモードにします。 トリガーを押す必要はありません
〈フラッシュ〉 %0274	トリガーを押すと、 下記にあるフラッシュ常時モード に切り替わります。 再度トリガーを押すと消灯します
〈フラッシュ常時 ON〉 %0276	フラッシュモードで常時起動しま す。 トリガーを押す必要がありません
〈物体検知モード ON〉 %09F8	物体検知モードをONにします。 物を近づけると照射を始めます。 (物体検知搭載機のための機能です。 未搭載機器ではご使用出来ませ ん)

3. 設定の終了

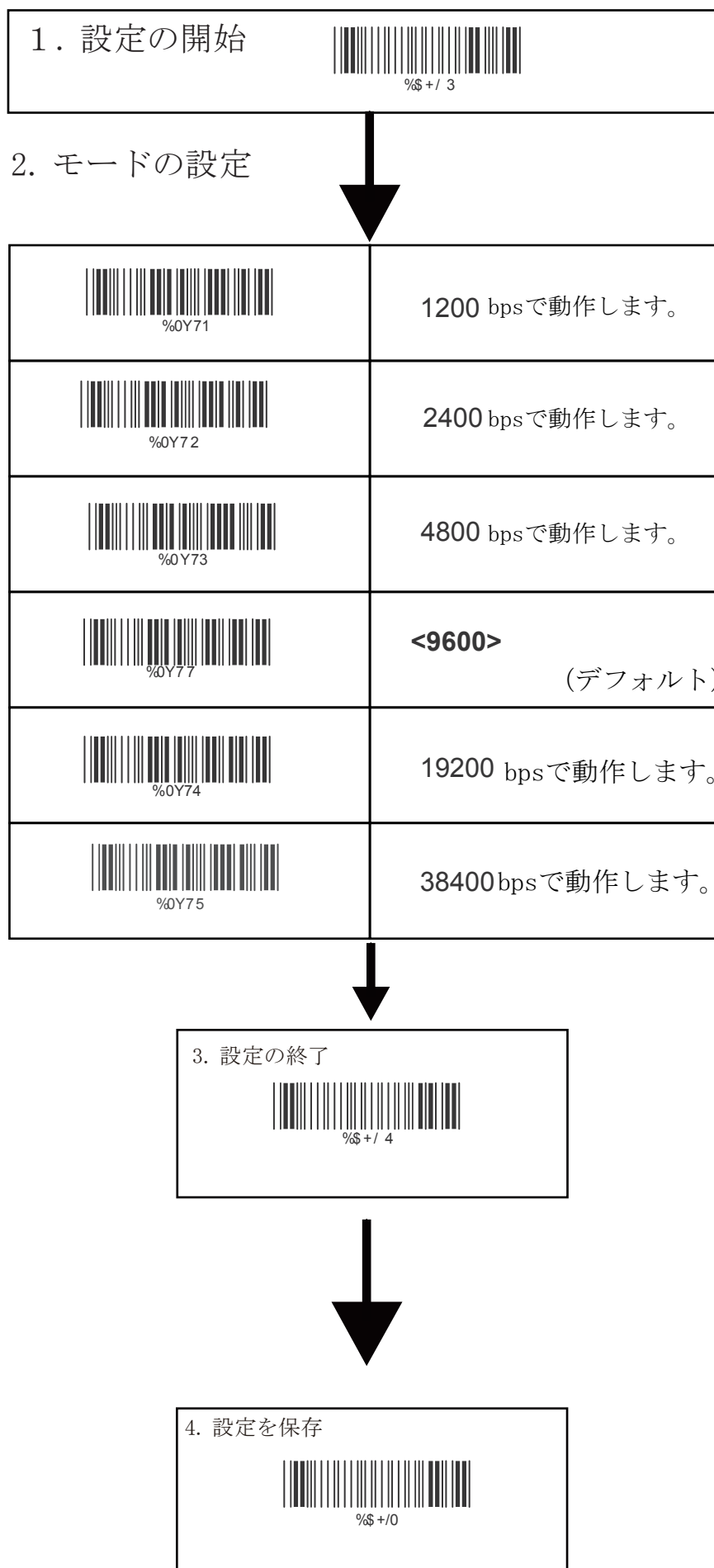


4. 設定を保存



RS232通信パラメータ

ボーレートの設定



RS232通信パラメータ データビットの設定

1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

B> データビットの設定

 %0Y80	7 Data Bits
 %0Y88	<8 Data Bits> (デフォルト)



3. 設定の終了



4. 設定を保存



RS232通信パラメータ ストップビットの設定

1. 設定の開始


%\$+/ 3



2. 使用するモードを選択

C> ストップビットの設定

 %0Y08	<1 Bit> (デフォルト)
 %0Y00	2 Bits



3. 設定の終了


%\$+/ 4



4. 設定を保存


%\$+/0

RS232通信パラメータ パリティの設定

1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

D>パリティの設定

設定コード	説明
 %0YN7	〈なし〉 (デフォルト)
 %0YN 2	Even
 %0YN3	Odd
 %0YN1	Mark
 %0YN0	Space



3. 設定の終了



4. 設定を保存



RS232通信パラメータ ハンドシェイクの設定

1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

E>ハンドシェイクの設定

※「ACK/NAK あり」、「RTS/CTS あり」など2つ設定を変更する場合は一度「ACK/NAK あり」を設定し4の「設定終了」まで行い、再度1から「RTS/CTS あり」を設定します。

設定コード	説明
	<RTS/CTSなし> (デフォルト)
	<RTS/CTSあり>
	<ACK/NAKなし> (デフォルト)
	<ACK/NAKあり>
	<XON/XOFFなし> (デフォルト)
	<XON/XOFFあり>



3. 設定の終了



4. 設定を保存



大文字、小文字変換

1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

A> 大文字、小文字変換

設定コード	説明
 %0330	〈なし〉 (デフォルト)
 %0331	大文字変換あり
 %0332	小文字変換あり



3. 設定の終了



4. 設定を保存



キーボードエミュレーション設定

1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

B> CAPSロック検出

設定コード	説明
 %0X80	〈なし〉 (デフォルト)
 %0X88	検出あり

C> ALTシーケンス検出

設定コード	説明
 %0300	〈なし〉 (デフォルト)
 %0308	検出あり

E > 数字データテンキー転送

設定コード	説明
 %01K0	〈なし〉 (デフォルト)
 %01K8	転送あり



3. 設定の終了



4. 設定を保存



ヘッダ付加コード設定

1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

A> ヘッダー付加コード

設定コード	説明	設定コード	説明
 %7S7+	<なし>	 %7S4+	Space
 %7S2+	CR+LF	 %7S3+	HT(TAB)
 %7S0+	CR (デフォルト)	 %7S5+	STX-ETX
 %7S1+	LF		



3. 設定の終了



4. 設定を保存



文字間遅延設定

バーコードを入力する際にデータ1文字毎に遅延を入れます。
長い文字数（20文字）や制御コードを複数入力している際にご利用ください。

1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

B> 文字間遅延

設定コード	説明	設定コード	説明
 %0070	〈なし〉 (デフォルト)	 %0074	50 ms
 %0071	5 ms	 %0075	100 ms
 %0072	10 ms	 %0076	200 ms
 %0073	25 ms	 %0077	300 ms



3. 設定の終了



4. 設定を保存



読み取りコードの選択

1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

	ON	OFF
UPC-A	 %0A44	 %0A40
UPC-E	 %0B08	 %0B00
EAN-13/JAN-13ISBN-13	 %0A22	 %0A20
EAN-8/JAN-8	 %0A11	 %0A10
CODE 39	 %0E08	 %0E00
CODE 128	 %0F08	 %0F00
CODABAR/NW-7	 %0J08	 %0J00



3. 設定の終了



4. 設定を保存



読み取りコードの選択2

1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

	ON	OFF
Interleave 25	 %0GO8	 %0GO0
Industrial 25	 %0HO8	 %0HO0
Matrix 25	 %0I O8	 %0I O0
CODE 93	 %0KO8	 %0KO0
CODE 11	 %0LO8	 %0LO0
China Postage	 %CMO8	 %0 MO0
MSI/PLESSEY	 %CNO8	 %0 NO0



3. 設定の終了



4. 設定を保存



GS1 Databar

1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

設定コード	説明
 %0U00	GS1 DataBar Omnidirectional OFF (デフォルト)
 %0U08	GS1 DataBar Omnidirectional ON
 %0V00	GS1 DataBar Limited <OFF> (デフォルト)
 %0V08	GS1 DataBar Limited ON
 %0W00	GS1 DataBar Expanded ON
 %0W08	GS1 DataBar Expanded <OFF> (デフォルト)



3. 設定の終了



4. 設定を保存



バーコードパラメーター設定

1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

設定コード	説明	設定コード	説明
 %0AK0	UPCA=EAN13 変換なし	 %0BH0	UPC-E 拡張なし (デフォルト)
 %0AK4	UPCA=EAN13 変換あり	 %0BH1	UPC-E 拡張あり 変換なし
 %0B80	ISBN-変換なし (デフォルト)	 %0AO0	EAN8=EAN13 (デフォルト)
 %0B88	ISBN- 変換あり	 %0AO8	EAN8=EAN13 変換あり
 %0B40	ISSN 変換なし (デフォルト)	 %0X40	GTIN フォーマット無し (デフォルト)
 %0B44	ISSN Enable 変換あり	 %0X44	GTIN フォーマットあり



3. 設定の終了



4. 設定を保存



補足セットアップ(アドオンコード)

1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

A> アドオンコードの送信

設定コード	説明	設定コード	説明
 %0B33	アドオン送信なし	 %0B31	アドオン2 送信あり
 %0B32	アドオン5 送信あり ※デフォルト	 %0B30	アドオン2, 5送信あり

B> アドオンコードの識別

「A>」の設定にて「アドオン5送信あり」「アドオン2送信あり」
「アドオン2,5送信あり」のいずれかを設定した場合、設定を行えます。

 %0108	アドオンコード 自動識別送信あり (デフォルト)	アドオン5やアドオン2が含まれているコード、 含まれていないコード、両方を送信します。
 %0100	アドオンコードが 含まれるコードのみ 送信を行う	アドオン5やアドオン2が含まれている コードのみ送信を行います。



3. 設定の終了



4. 設定を保存



チェックディジットの送信

1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

	ON	OFF
UPC-A	%0A12	%0A10
UPC-E	%0B12	%0B10
EAN-8	%0A88	%0A80
EAN-13	%0AH1	%0AH0
ISSN	%0BK4	%0BK0



3. 設定の終了



4. 設定を保存



code39セットアップパラメーター

1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

設定コード	説明
 %0EH1	フルアスキー 読み取りなし (D)
 %EH0	フルアスキー 読み取りあり
 %0E80	イタリアン フォーマシー コード32 読み取りなし (D)
 %0E88	イタリアン フォーマシー コード32 読み取りあり (D)



※(D) はデフォルト設定

3. 設定の終了



4. 設定を保存



code39セットアップパラメーター2

チェックディジット伝送

1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

設定コード	説明
 %0EM2	チェックディジット 検査なし (D)
 %0EM6	チェックディジット 検査あり送信あり
 %0EM4	チェックディジット 検査あり送信なし



※ (D) はデフォルト設定

3. 設定の終了



4. 設定を保存



code39セットアップパラメーター3

スタート/ストップキャラクター

1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

設定コード	説明
 %0E40	スタート/ストップ キャラクター 送信なし (D)
 %0E44	スタート/ストップ キャラクター 送信あり



※(D) はデフォルト設定

3. 設定の終了



4. 設定を保存



code39セットアップパラメーター4

読み取りコードの長さを設定する

下記の設定で指定した文字数のバーコードのみを読み取ることができます。

◆設定内容

固定長：設定した桁数のバーコードのみ、読取りが可能です。

最小読み取り桁数：設定した桁数以上のバーコードを読取ります。

※最大桁数の設定は出来ません。

1. 設定の開始



2. コードの長さ設定



3. 設定に応じて下記のコードを読みます。

- ・固定長読取桁数 1



- ・固定長読取桁数2



- ・最小読み取り桁数



4. 下記の設定用コードを読み取ります。

※例 10桁なら 「1」、「0」の
順で読み取ります。

5. 下記の設定確定コードを読み取ります。

※ ここでは「2.」で選んだ数字に応じてコードを
読み取ります。
「固定長読取桁数 1」を設定した場合、下記でも
「固定長読取桁数 1」の確定コードを読みます。

- ・固定長読取桁数 1



- ・固定長読取桁数2



- ・最小読み取り桁数



6. 設定の終了



7. 設定を保存



0



4



1



5



8



2



6



9



3



7



code128セットアップパラメーター

読み取る種類

1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

設定コード	説明
 %0F44	UCC/EA1-128 読み取りあり
 %0F40	UCC/EA1-128 読み取りなし (D)
 %0F22	JC1送信あり
 %0F20	JC1送信なし (D)
 %0F11	グループセパレーター 送信あり
 %0F10	グループセパレーター 送信なし (D)
 %0FN1	チェックディジット検査無し
 %0FN7	チェックディジット 検査あり・送信あり
 %0FN5	チェックディジット 検査あり・送信なし (D)
 %0F88	FNC2 連結無し (D)
 %0F80	FNC2 連結あり



※(D) はデフォルト設定

3. 設定の終了



4. 設定を保存



code128セットアップパラメーター

読み取りコードの長さを設定する

下記の設定で指定した文字数のバーコードのみを読み取ることができます。

◆設定内容

固定長：設定した桁数のバーコードのみ、読取りが可能です。

最小読み取り桁数：設定した桁数以上のバーコードを読取ります。

※最大桁数の設定は出来ません。

1. 設定の開始



2. コードの長さ設定



3. 設定に応じて下記のコードを読みます。

・固定長読取桁数 1



・固定長読取桁数2



・最小読み取り桁数



4. 下記の設定用コードを読み取ります。

※例 10桁なら 「1」、「0」の順で読み取ります。

0



1



2



3



4



5



6



7



8



9



5. 下記の設定確定コードを読み取ります。

※ ここでは「2.」で選んだ数字に応じてコードを読み取ります。

「固定長読取桁数 1」を設定した場合、下記でも「固定長読取桁数 1」の確定コードを読みます。

・固定長読取桁数 1



・固定長読取桁数2



・最小読み取り桁数



6. 設定の終了



7. 設定を保存



インターリフト25 パラメーター

1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

A> チェックディジット伝送

設定コード	説明
 %GN3	チェックディジット 検査なし (D)
 %GN7	チェックディジット 検査あり送信あり
 %GN5	チェックディジット 検査あり送信なし

B> キャラクターナンバーセットアップ

設定コード	説明
 %G88	偶数
 %G80	奇数



※ (D) はデフォルト設定

3. 設定の終了



4. 設定を保存



インターリフト25 パラメーター

読み取りコードの長さを設定する

下記の設定で指定した文字数のバーコードのみを読み取ることができます。

◆設定内容

固定長：設定した桁数のバーコードのみ、読取りが可能です。

最小読み取り桁数：設定した桁数以上のバーコードを読取ります。

※最大桁数の設定は出来ません。

1. 設定の開始



2. コードの長さ設定



3. 設定に応じて下記のコードを読みます。

- ・固定長読取桁数 1



- ・固定長読取桁数2



- ・最小読み取り桁数



4. 下記の設定用コードを読み取ります。

※例 10桁なら 「1」、「0」の順で読み取ります。

0



1



2



3



4



5



6



7



8



9



5. 下記の設定確定コードを読み取ります。

※ ここでは「2.」で選んだ数字に応じてコードを読み取ります。

「固定長読取桁数 1」を設定した場合、下記でも「固定長読取桁数 1」の確定コードを読みます。

- ・固定長読取桁数 1



- ・固定長読取桁数2



- ・最小読み取り桁数



6. 設定の終了



7. 設定を保存



インダストリアル25 パラメーター

1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

A> 読み取りタイプ

設定コード	説明
 %0H44	読み取り ON
 %0H40	読み取り OFF

B> チェックディジット伝送

設定コード	説明
 %0HN3	チェックディジット 検査なし (D)
 %0HN7	チェックディジット 検査あり送信あり
 %0HN5	チェックディジット 検査あり送信なし



※(D) はデフォルト設定

3. 設定の終了



4. 設定を保存



インダストリアル 25 パラメーター

読み取りコードの長さを設定する

下記の設定で指定した文字数のバーコードのみを読み取ることができます。

◆設定内容

固定長: 設定した桁数のバーコードのみ、読み取りが可能です。

最小読み取り桁数: 設定した桁数以上のバーコードを読み取ります。

※最大桁数の設定は出来ません。

1. 設定の開始



2. コードの長さ設定



3. 設定に応じて下記のコードを読みます。

- ・ 固定長読取桁数 1



- ・ 固定長読取桁数 2



- ・ 最小読み取り桁数



4. 下記の設定用コードを読み取ります。

※例 10桁なら 「1」、「0」の順で読み取ります。

0



1



2



3



4



5



6



7



8



9



5. 下記の設定確定コードを読み取ります。

- ※ ここでは「2.」で選んだ数字に応じてコードを読み取ります。
「固定長読取桁数 1」を設定した場合、下記でも「固定長読取桁数 1」の確定コードを読みます。

- ・ 固定長読取桁数 1



- ・ 固定長読取桁数 2



- ・ 最小読み取り桁数



6. 設定の終了



7. 設定を保存



マトリクス 25 パラメーター

1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

A> チェックディジット伝送

設定コード	説明
 %0IN3	チェックディジット 検査なし (D)
 %0IN7	チェックディジット 検査あり送信あり
 %0IN5	チェックディジット 検査あり送信なし



※(D) はデフォルト設定

3. 設定の終了



4. 設定を保存



マトリクス 25 パラメーター

読み取りコードの長さを設定する

下記の設定で指定した文字数のバーコードのみを読み取ることができます。

◆設定内容

固定長: 設定した桁数のバーコードのみ、読み取りが可能です。

最小読み取り桁数: 設定した桁数以上のバーコードを読み取ります。

※最大桁数の設定は出来ません。

1. 設定の開始



%\$+/3

2. コードの長さ設定



%411+

3. 設定に応じて下記のコードを読みます。

- ・固定長読取桁数 1



%4100

- ・固定長読取桁数 2



%4100

- ・最小読み取り桁数



%2+-/

4. 下記の設定用コードを読み取ります。

※例 10桁なら 「1」、「0」の順で読み取ります。

0



1



2



3



5. 下記の設定確定コードを読み取ります。

- ※ ここでは「2.」で選んだ数字に応じてコードを読み取ります。
「固定長読取桁数 1」を設定した場合、下記でも「固定長読取桁数 1」の確定コードを読みます。

- ・固定長読取桁数 1



%4100

- ・固定長読取桁数 2



%4102

- ・最小読み取り桁数



%2C4+

6. 設定の終了



%\$+/4

7. 設定を保存



%\$+/0

4



5



6



7



8



9



CODABAR/NW-7 パラメーター

1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

A> Set Up Start/Stop 伝送設定

設定コード	説明
 %0JH1	転送する
 %0JH0	転送しない ※デフォルト

C> チェックディジットの設定

SD120/SD380/SD700のみ設定可能です。
設定は下記のページより設定マニュアルを確認ください。

http://www.media9.co.jp/m_tuhan/manual/question/sdseriesnw7.pdf



3. 設定の終了



4. 設定を保存



B> Start/Stop 伝送タイプ設定

設定コード	説明
 %04VF	スタートキャラクタ ABCD (ON)
 %04FF	スタートキャラクタ ABCD (OFF)
 %04V1	スタートキャラクタ A (ON)
 %04F1	スタートキャラクタ A (OFF)
 %04V2	スタートキャラクタ B (ON)
 %04F2	スタートキャラクタ B (OFF)
 %04V4	スタートキャラクタ C (ON)
 %04F4	スタートキャラクタ C (OFF)
 %04V8	スタートキャラクタ D (ON)
 %04F8	スタートキャラクタ D (OFF)

※(D) はデフォルト設定

CODABAR/NW-7 パラメーター

読み取りコードの長さを設定する

下記の設定で指定した文字数のバーコードのみを読み取ることができます。

◆設定内容

固定長：設定した桁数のバーコードのみ、読取りが可能です。

最小読み取り桁数：設定した桁数以上のバーコードを読取ります。

※最大桁数の設定は出来ません。

1. 設定の開始



2. コードの長さ設定



3. 設定に応じて下記のコードを読みます。

- ・固定長読取桁数 1



- ・固定長読取桁数2



- ・最小読み取り桁数



4. 下記の設定用コードを読み取ります。

※例 10桁なら 「1」、「0」の順で読み取ります。

0



1



2



3



4



5



6



7



8



9



5. 下記の設定確定コードを読み取ります。

※ ここでは「2.」で選んだ数字に応じてコードを読み取ります。
「固定長読取桁数 1」を設定した場合、下記でも「固定長読取桁数 1」の確定コードを読みます。

- ・固定長読取桁数 1



- ・固定長読取桁数2



- ・最小読み取り桁数



6. 設定の終了



7. 設定を保存



code93 パラメーター

1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

A> Check Digit 送信

設定コード	説明
 %0KN4	チェックディジット検査あり送信なし
 %0EM2	チェックディジット検査なし (D)

※(D) はデフォルト設定



3. 設定の終了



4. 設定を保存



Code93 パラメーター

読み取りコードの長さを設定する

下記の設定で指定した文字数のバーコードのみを読み取ることができます。

◆設定内容

固定長：設定した桁数のバーコードのみ、読取りが可能です。（最高2パターン）

最小読み取り桁数：設定した桁数以上のバーコードを読取ります。

※最大桁数の設定は出来ません。

1. 設定の開始



2. コードの長さ設定



3. 設定に応じて下記のコードを読みます。

- ・固定長読取桁数 1



- ・固定長読取桁数2



- ・最小読み取り桁数



4. 下記の設定用コードを読み取ります。

※例 10桁なら 「1」、「0」の順で読み取ります。

0



1



2



3



5. 下記の設定確定コードを読み取ります。

※ ここでは「2.」で選んだ数字に応じてコードを読み取ります。

「固定長読取桁数 1」を設定した場合、下記でも「固定長読取桁数 1」の確定コードを読みます。

- ・固定長読取桁数 1



- ・固定長読取桁数2



- ・最小読み取り桁数



6. 設定の終了



7. 設定を保存



4



5



6



7



8



9



code11 パラメーター

1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

A> チェックディジット伝送

設定コード	説明
 %0LN3	チェックディジット検査なし (D)
 %0LN7	チェック1ディジット検査あり送信あり
 %0LN5	チェック2ディジット検査あり送信なし
 %0LN6	チェック2ディジット検査あり送信あり
 %0LN4	チェック2ディジット検査なし

※(D) はデフォルト設定



3. 設定の終了



4. 設定を保存



Code11 パラメーター

読み取りコードの長さを設定する

下記の設定で指定した文字数のバーコードのみを読み取ることができます。

◆設定内容

固定長：設定した桁数のバーコードのみ、読取りが可能です。(最高2パターン)

最小読み取り桁数：設定した桁数以上のバーコードを読取ります。

※最大桁数の設定は出来ません。

1. 設定の開始



2. コードの長さ設定



3. 設定に応じて下記のコードを読みます。

- ・固定長読取桁数 1



- ・固定長読取桁数2



- ・最小読み取り桁数



4. 下記の設定用コードを読み取ります。

※例 10桁なら 「1」、「0」の順で読み取ります。

0



1



2



3



5. 下記の設定確定コードを読み取ります。

※ ここでは「2.」で選んだ数字に応じてコードを読み取ります。

「固定長読取桁数 1」を設定した場合、下記でも「固定長読取桁数 1」の確定コードを読みます。

- ・固定長読取桁数 1



- ・固定長読取桁数2



- ・最小読み取り桁数



6. 設定の終了



7. 設定を保存



4



5



6



7



8



9



MSI/PLESSEY Codeパラメーター

1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

A> チェックディジット伝送

設定コード	説明
 %0NN3	チェックディジット検査なし (D)
 %0NN7	チェックディジット検査あり送信あり
 %0NN5	チェックディジット検査あり送信なし

※(D) はデフォルト設定



3. 設定の終了



4. 設定を保存



MSI/PLESSEY Code パラメーター

読み取りコードの長さを設定する

下記の設定で指定した文字数のバーコードのみを読み取ることができます。

◆設定内容

固定長：設定した桁数のバーコードのみ、読取りが可能です。(最高2パターン)

最小読み取り桁数：設定した桁数以上のバーコードを読取ります。

※最大桁数の設定は出来ません。

1. 設定の開始



2. コードの長さ設定



3. 設定に応じて下記のコードを読みます。

- ・固定長読取桁数 1



- ・固定長読取桁数2



- ・最小読み取り桁数



4. 下記の設定用コードを読み取ります。

※例 10桁なら 「1」、「0」の順で読み取ります。

0



1



2



3



4



5



6



7



8



9



5. 下記の設定確定コードを読み取ります。

※ ここでは「2.」で選んだ数字に応じてコードを読み取ります。
「固定長読取桁数 1」を設定した場合、下記でも「固定長読取桁数 1」の確定コードを読みます。

- ・固定長読取桁数 1



- ・固定長読取桁数2



- ・最小読み取り桁数



6. 設定の終了



7. 設定を保存



code2または6 パラメーター

1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

A> チェックディジット伝送

設定コード	説明
 %0 PN3	チェックディジット検査なし (D)
 %0PN7	チェックディジット検査あり送信あり
 %0PN5	チェックディジット検査あり送信なし

※(D) はデフォルト設定



3. 設定の終了



4. 設定を保存



code2または6 パラメーター

読み取りコードの長さを設定する

下記の設定で指定した文字数のバーコードのみを読み取ることができます。

1. 設定の開始



2. コードの長さ設定



3. 設定に応じて下記のコードを読みます。

- ・固定長読取桁数 1



- ・固定長読取桁数 2



- ・最小読み取り桁数



4. 下記の設定用コードを読み取ります。

※例 10桁なら 「1」、「0」の順で読み取ります。

5. 下記の設定確定コードを読み取ります。

※ ここでは「2.」で選んだ数字に応じてコードを読み取ります。
「固定長読取桁数 1」を設定した場合、下記でも「固定長読取桁数 1」の確定コードを読みます。

- ・固定長読取桁数 1



- ・固定長読取桁数 2



- ・最小読み取り桁数



6. 設定の終了



7. 設定を保存



0



4



1



5



8



2



6



9



3



7



LCD25 パラメーター

1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

A> チェックディジット伝送

設定コード	説明
 %Q N3	チェックディジット検査なし (D)
 %Q N7	チェックディジット検査あり送信あり
 %Q N5	チェックディジット検査あり送信なし

※(D) はデフォルト設定



3. 設定の終了



4. 設定を保存



下記の設定で指定した文字数のバーコードのみを読み取ることができます。

◆設定内容

固定長：設定した桁数のバーコードのみ、読取りが可能です。（最高2パターン）

最小読み取り桁数：設定した桁数以上のバーコードを読取ります。

※最大桁数の設定は出来ません。

1. 設定の開始



2. コードの長さ設定



3. 設定に応じて下記のコードを読みます。

- ・固定長読取桁数 1



- ・固定長読取桁数2



- ・最小読み取り桁数



4. 下記の設定用コードを読み取ります。

※例 10桁なら 「1」、「0」の順で読み取ります。

0



1



2



3



5. 下記の設定確定コードを読み取ります。

※ ここでは「2.」で選んだ数字に応じてコードを読み取ります。

「固定長読取桁数 1」を設定した場合、下記でも「固定長読取桁数 1」の確定コードを読みます。

- ・固定長読取桁数 1



- ・固定長読取桁数2



- ・最小読み取り桁数



6. 設定の終了



7. 設定を保存



4



5



6



7



8



9



GS1Databar パラメーター

1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

A>

チェックディジット伝送

設定コード	説明	設定コード	説明
 %0UN7	ディジットを送信	 %0W44	シンボロジーID(Je0)送信なし
 %0UN5	チェックディジットを送信しない	 %0V40	シンボロジーID(Je0)送信あり
 %0U88	アプリケーションIDの送信	 %0U44	シンボロシーIDの送信
 %0U80	アプリケーションID送信無し	 %0U40	シンボロシーIDの送信なし



※(D) はデフォルト設定

3. 設定の終了



4. 設定を保存



言語選択

1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

設定コード	説明	設定コード	説明
 %0ZV0	US英語	 %0ZV8	ハンガリー語
 %0ZV1	UK英語	 %0ZV9	日本語
 %0ZV2	イタリア語	 %0ZVA	ベルギー
 %0ZV3	スペイン語	 %0ZVB	ポルトガル
 %0ZV4	フランス語	 %0ZVC	デンマーク
 %0ZV5	ドイツ語	 %0ZVD	オランダ
 %0ZV6	スウェーデン	 %0ZVE	トルコ
 %0ZV7	スイス語		



※(D) はデフォルト設定

3. 設定の終了



4. 設定を保存



CodeID

1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

ON



<OFF>



デフォルト



コードタイプ	ID	コードタイプ	ID
UPC-A	A	UPC-E	B
EAN-8	C	EAN-13	D
CODE 39	E	CODE 128	F
Interleave 25	G	Industrial 25	H
Matrix 25	I	Codabar/NW7	J
CODE 93	K	CODE 11	L
China Postage	M	MSI/PLESSEY	N
Code 2 of 6	P	LCD25	Q
Telepen	T	GS1 DataBar	U
GS1 DataBar Limited	V	Omnidirectional GS1 DataBar Expanded	W



3. 設定の終了



4. 設定を保存



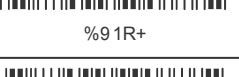
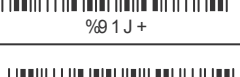
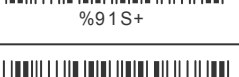
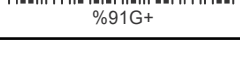
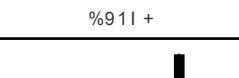
※(D) はデフォルト設定

ユーザーコードID

1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

 %9 1 A+	UPC A	 %9 1 P+	Code 2 of 6	 %9 1 N+	MSI/PLESSEY
 %9 1 B+	UPC-E	 %9 1 Q+	LCD25	 %9 1 M+	ChinaPostage
 %9 1 Y+	EAN-13/JAN-13	 %9 1 U+	GS1 DataBar Omnidirectional ON	 %9 1 K+	CODE 93
 %9 1 Z+	EAN-8/JAN-8	 %9 1 V+	GS1 DataBar Limited ON	 %9 1 L +	CODE 11
 %9 1 E+	CODE 39	 %9 1 W+	GS1 DataBar Expanded ON	 %9 1 H+	Industrial 25
 %9 1 F+	CODE 128	 %9 1 R+	Reserved5		
 %9 1 J +	CODABAR/NW7	 %9 1 S+	Reserved6		
 %9 1 G+	Interleave 25	 %9 1 I +	Matrix 25		



3. P58～60の設定用コードBから 設定したいコード ID をスキャンします。



3. 設定の終了



4. 設定を保存



ネガコード(色の反転コード)

バーコードの白と黒が反転したコードも自動認識して読み取り対象とします。

※これらの設定を行うことで通常のコードの認識やコード状態により誤読に繋がる場合があります。

1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

設定コード	説明
	白黒反転コード (ネガコード) 読み取り
	白黒反転コード (ネガコード) 読み取りしない

4. 設定を保存



5. 設定の終了



ビープ音

1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

設定コード	説明	設定コード	説明
	音量 大		音量 小
	音量 中		音量 無し

3. 設定の終了



4. 設定を保存



コード間の遅延設定

下記は

「連続照射（オートスキャン）・フラッシュモード」で動作することができます。

値は1-50から定義することができます。

間隔は100msでデフォルトは3（0.3秒）

1. 設定の開始



2. 遅延設定コードを読み取り下記の数字のコードで値を設定します。
0.3秒なら3を読み取ります。

遅延設定コード



0 	5 
1 	6 
2 	7 
3 	8 
4 	9 



3. 遅延設定完了



3. 設定の終了



4. 設定を保存



出力文字の削除

1. 設定の開始



1> 選択削除セット番号

1. セット1



2. セット2



3. セット3



4. セット4



5. セット5



6. セット6

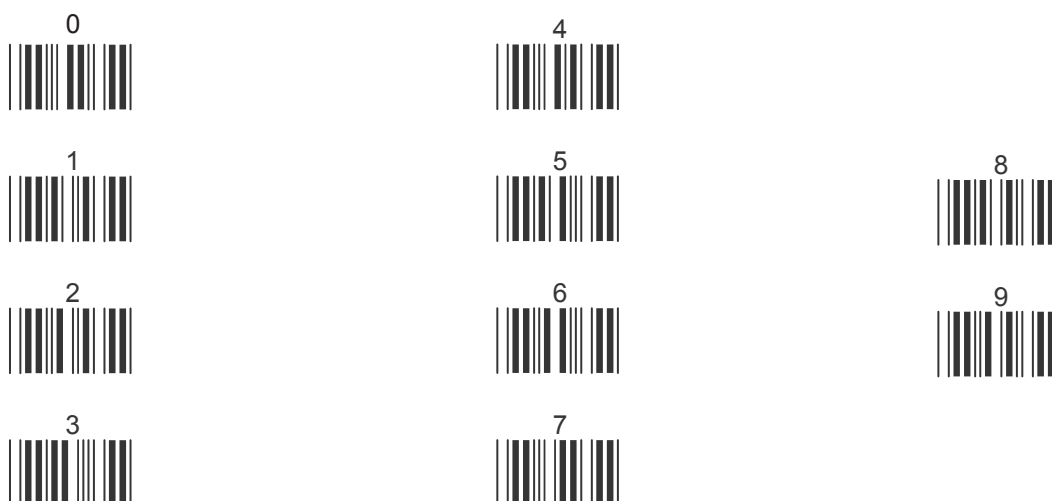


2> 削除する対象のコードを選択。

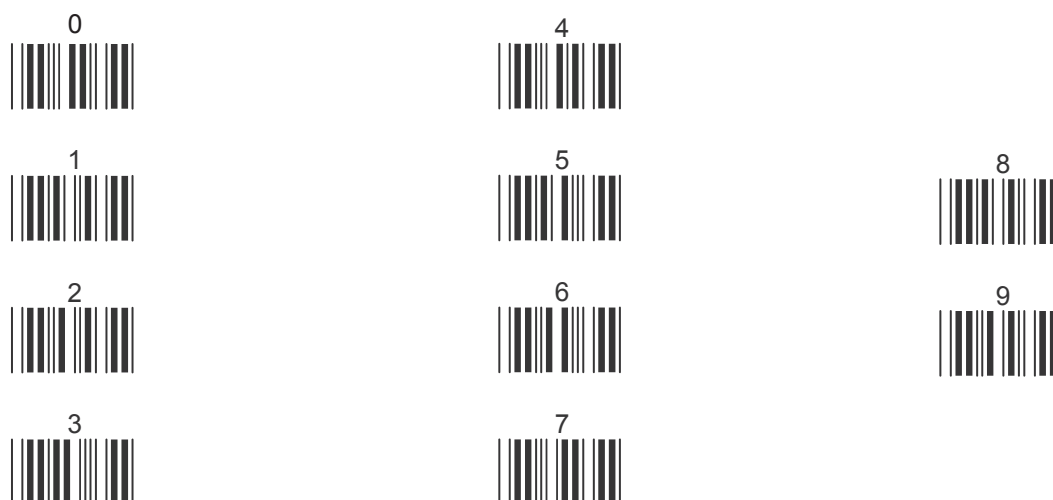
UPC-A %81A+	UPC-E %81B+	EAN-13/JAN-13/ISBN-13 %81Y+	EAN-8/JAN-8 %81Z+
CODE 39 %81E+	CODE 128 %81F+	CODABAR/N97 %81J+	Interleave 25 %81G+
Industrial 25 %81H+	Matrix 25 %81I+	CODE 93 %81K+	CODE 11 %81L+
China Postage %81M+	MSI/PLESSEY %81N+	Code 2 of 6 %81P+	Telepen %81T+
LCD25 %81Q+	GS1 DataBar Omnidirectional %81U+	GS1 DataBar Limited %81V+	次のページへ 続きます。
GS1 DataBar Expanded %81W+	すべてのコード %81S+	None %814+	

出力文字の削除 2

3. 削除開始位置を設定（1文字目から削除するなら1をスキャン）



4. 削除文字数を設定（開始位置より3文字削除する場合3をスキャン）



コードの挿入

1. 設定の開始



%\$+/ 3

1> 選択挿入セット番号（最大6つ登録出来ます。）1パターン：8文字付加出来ます。

1. セット1



%500+

2 セット2



%501+

3. セット3



%502+

4 セット4



%503+

5 セット5



%504+

6 セット6



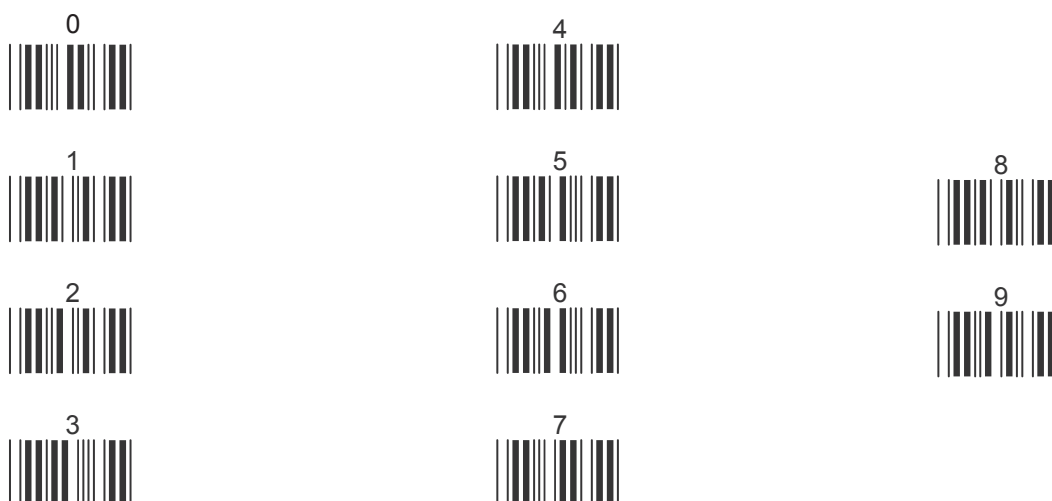
%505+

2> 挿入する対象のコードを選択。

UPC-A  %51A+	UPC-E  %51B+	EAN-13/JAN-13/ISBN-13  %51Y+	EAN-8/JAN-8  %51Z+
CODE 39  %51E+	CODE 128  %51F+	CODABAR/NW7  %51J+	Interleave 25  %51G+
Industrial 25  %51H+	Matrix 25  %51I+	CODE 93  %51K+	CODE 11  %51L+
China Postage  %51M+	MSI/PLESSEY  %51N+	Code 2 of 6  %51P+	Telepen  %51T+
LCD255  %51Q+	GS1 DataBar Omnidirectional  %51U+	GS1 DataBar Limited  %51V+	次のページへ 続きます。
GS1 DataBar Expanded  %51W+	All Codes（すべて）  %51S+	None  %514+	

コードの挿入 2

3. 挿入開始位置を設定（1文字目に挿入するなら1をスキャン）

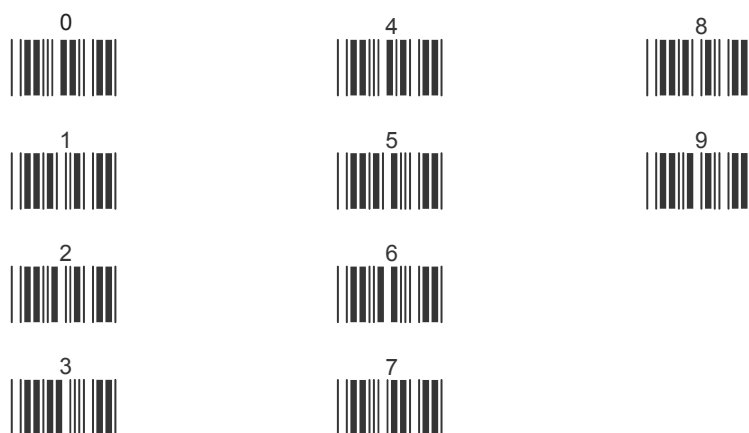


4. 挿入するコードを P 5 8 ～ 6 0 より選び「挿入文字設定完了」を読み取ります。



設定用コード

設定用コードA



設定用コードB



設定用コード2

設定用コードB

SP(スペース)



20

#



23

&



26

)



29

,



2C

/



2F

2



32

5



35

8



38

:



3B

>



3E

“



22

%



25

(



28

+



2B

.



2E

1



31

4



34

7



37

:



3A

=



3D

!



21

\$



24

,



27

*



2A

-



2D

0



30

3



33

6



36

9



39

<



3C

?



3F

@



40

C



43

F



46

I



49

L



4C

O



4F

R



52

U



55

X



58

[



5B

^



5E

B



42

E



45

H



48

K



4B

N



4E

Q



51

T



54

W



57

Z



5A

]



5D

A



41

D



44

G



47

J



4A

M



4D

P



50

S



53

V



56

Y



59

\



5C

_



5F

設定用コード 3

設定用コードB

,		a
60		61
c	b	d
63	62	64
f	e	g
66	65	67
i	h	j
69	68	6A
l	k	m
6C	6B	6D
o	n	p
6F	6E	7C
r	q	s
72	71	73
u	t	v
75	74	76
x	w	y
78	77	79
☒	z	
7B	7A	7C
~	}	DEL
7E	7D	7F

設定用コードC

F1		F2
C0		C1
F4	F3	F5
C3	C2	C4
F7	F6	F8
C6	C5	C7
F9		F11
C8		CA
F12		Delete
CB		CD
Home		Page Down
CE		D0
Page Up	End	Right
CF	D1	D3
Left	Up	
D2	D4	
Down		
D5		

設定用コード 4

設定用コードD

0		1	
2		3	
4		5	
6		7	
8		9	
Enter			

CCD バーコードリーダーデフォルト設定 1

インターフェイスの選択	デフォルト	設定ページ
モード	キーボードモード	P7
読み取りモードの選択	デフォルト	設定ページ
設定モード	通常読み取りモード	P8
RS232通信パラメータ	デフォルト	設定ページ
bps	9600	P9
databits	8DATA Bits	P10
ストップビット	1Bits	P11
パリティ	無し	P12
ハンドシェイク	デフォルト	設定ページ
RTS/CTS	無し	P13
ACK/NAK	無し	
XON/XOFF	無し	
大文字・小文字	デフォルト	設定ページ
変換	無し	P14
キーボードシミュレーション	デフォルト	設定ページ
CAPSロック検出	なし	P15
ALTシーケンス検出	無し	
数字データテンキー転送	無し	
ヘッダ付加コード	デフォルト	設定ページ
付加コード	CR+LF	P16
文字間ディレイ	なし	P17
読み取りバーコード	デフォルト	設定ページ
UPC-A	ON	P18
UPC-E	ON	
JAN-13	ON	
JAN-8	ON	
CODE39	ON	
CODE128	ON	
CODABAR/NW7	ON	
読み取りバーコード2	デフォルト	設定ページ
Interleave 25	ON	P19
Industrial 25	OFF	
Matrix 25	OFF	
CODE 93	OFF	
CODE 11	OFF	
China Postage	OFF	
MSI/PLESSEY	OFF	
GS1 Databar	デフォルト	設定ページ
DataBar Omnidirectional	OFF	P20
DataBar Limited	OFF	
DataBar Expanded	OFF	

CCD バーコードリーダーデフォルト設定 2

バーコードパラメータ	デフォルト	設定ページ
UPCA=EAN13	変換なし	P21
ISBN	変換なし	
ISSN	変換なし	
アドオン	自動識別	
UPC-E	拡張なし	
EAN8=EAN13	変換なし	
GTIN	formatなし	
補足セットアップ	デフォルト	設定ページ
アドオン送信	無し	P22
チェックディジットの送信	デフォルト	設定ページ
UPC-A	ON	P23
UPC-E	ON	
JAN-13	ON	
JAN-8	ON	
ISSN	ON	
CODE39セットアップ	デフォルト	設定ページ
フルアスキー	読み取り無し	P24
イタリアンフォーマシー	読み取り無し	P24
チェックディジットの送信	検査なし	P25
スタート・ストップキャラクタ	送信なし	P26
CODE128セットアップ	デフォルト	設定ページ
UCC/EA11-128	読み取りなし	P28
JC1	送信なし	
グループセパレーター	送信なし	
チェックディジット	検査あり・送信なし	
FNC2	連結なし	
インターリフト25	デフォルト	設定ページ
チェックディジット	検査なし	P30
インダストリアル25	デフォルト	設定ページ
チェックディジット	検査なし	P32
マトリクス25	デフォルト	設定ページ
チェックディジット	検査なし	P34
CODE93	デフォルト	設定ページ
チェックディジット	検査なし・送信なし	P38
CODE11	デフォルト	設定ページ
チェックディジット	検査なし	P40
CODE2、CODE6	デフォルト	設定ページ
チェックディジット	検査なし	P44
LCD25	デフォルト	設定ページ
チェックディジット	検査なし	P46
DATABAR	デフォルト	設定ページ
チェックディジット	送信する	P48
アプリケーションID	送信する	
シンボロジーID (Je0)	送信あり	
シンボロシーID	送信なし	
言語選択	デフォルト	設定ページ
モード	日本語	P49
ネガコード	デフォルト	設定ページ
反転コード	読み取りしない	P52
ビープ音	デフォルト	設定ページ
音量	大	P52

GS1 DataBar Expanded パラメーター

1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

A>

設定コード	説明
	シンボロシーIDの送信
	シンボロシーIDの送信なし



※(D) はデフォルト設定

3. 設定の終了



4. 設定を保存



1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

A>

チェックディジット伝送

設定コード	説明	設定コード	説明
 %0VN7	ディジットを送信	 %0V4 4	シンボロシーIDの送信
 %0VN5	チェックディジットを送信しない	 %0V4 0	シンボロシーIDの送信なし
 %0V88	アプリケーションIDの送信		
 %0V80	アプリケーションID送信無し		



※(D) はデフォルト設定

3. 設定の終了



4. 設定を保存



読み取りチェック（誤読防止）

○説明

指定した回数、バーコードのチェックを行い送信します。
チェックディジット無しのコードや印字の悪いコード等を
読み取る際に誤読が発生する場合に設定ください。

1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

設定コード	説明
	1 回（デフォルト）
	2回
	3回
	4回



3. 設定の終了



4. 設定を保存

